第一生命 年金通信

# 特勘☆Market Report -weekly-

No.2021－118

特別勘定運用部
2022年3月7日

## 先週のポイント

日本株はウクライナ情勢の悪化を受けて下落し、日経平均は26,000円を割り込んだ。米国では、パウエルFRB議長が議会証言で3月の利上げ幅に言及したことで過度な金融引き締め懸念が和らぎ、米国株は一時上昇したものの、週末にロシア軍によるウクライナ原発の制圧が伝わり、一段の情勢悪化を受けて下落。リスクオフが強まり、為替は114円台後半まで円高ドル安が進行した。

| | 2021年3月末 | 1月31日 | 2月25日 | 3月4日 | （年度始～）2021年3月末比 | 1月31日比 | （前週末～）2月25日比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日経平均株価（円） | 29,178 | 27,001 | 26,476 | 25,985 | −10.9% | −3.8% | −1.9% |
| TOPIX（ポイント） | 1,954 | 1,895 | 1,876 | 1,844 | −5.6% | −2.7% | −1.7% |
| NYダウ（ドル） | 32,981 | 35,131 | 34,058 | 33,614 | 1.9% | −4.3% | −1.3% |
| S&P 500（ポイント） | 3,972 | 4,515 | 4,384 | 4,328 | 9.0% | −4.1% | −1.3% |
| ナスダック総合指数（ポイント） | 13,246 | 14,239 | 13,694 | 13,313 | 0.5% | −6.5% | −2.8% |
| ユーロストックス（ポイント） | 432 | 460 | 439 | 395 | −8.5% | −14.1% | −10.1% |
| 上海総合指数（ポイント） | 3,441 | 3,361 | 3,451 | 3,447 | 0.2% | 2.6% | −0.1% |
| 円／ドル（円） | 110.72 | 115.11 | 115.55 | 114.82 | 3.7% | −0.3% | −0.6% |
| 円／ユーロ（円） | 129.86 | 129.33 | 130.25 | 125.55 | −3.3% | −2.9% | −3.6% |
| ドル／ユーロ（ドル） | 1.1729 | 1.1235 | 1.1272 | 1.0935 | −6.8% | −2.7% | −3.0% |
| WTI 原油先物（ドル／バレル） | 59.16 | 88.15 | 91.59 | 115.68 | 95.5% | 31.2% | 26.3% |
| | | | | | *金利は変化幅 | | |
| 日本10年国債（%） | 0.10 | 0.18 | 0.21 | 0.16 | 0.07 | −0.02 | −0.05 |
| 米国10年国債（%） | 1.74 | 1.78 | 1.96 | 1.73 | −0.01 | −0.05 | −0.23 |
| ドイツ10年国債（%） | −0.29 | 0.01 | 0.23 | −0.07 | 0.22 | −0.08 | −0.30 |
| イタリア10年国債（%） | 0.67 | 1.29 | 1.83 | 1.54 | 0.87 | 0.25 | −0.30 |
| スペイン10年国債（%） | 0.34 | 0.75 | 1.21 | 0.97 | 0.63 | 0.22 | −0.24 |
| フランス10年国債（%） | −0.05 | 0.43 | 0.71 | 0.43 | 0.48 | 0.01 | −0.27 |

*市場が休日の場合は前営業日の数値を記載しています。　（出所）Bloomberg

## 先週の市場動向（内外株式）

**国内株式** 下落

週初はロシア・ウクライナ間での停戦協議開催をきっかけに買いが先行していたものの、ロシアによるウクライナの原発施設への攻撃等を受けて投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから下落。日経平均は2万5,985円で取引を終えた。

**東証33業種別騰落率**

| | | | |
|---|---|---|---|
| （上位） | 1 | 海運業 | 15.6% |
| | 2 | 鉱業 | 14.8% |
| | 3 | 石油・石炭製品 | 8.0% |
| | 4 | 非鉄金属 | 4.7% |
| | 5 | 鉄鋼 | 3.6% |
| （下位） | 1 | ガラス・土石製品 | −7.0% |
| | 2 | 輸送用機器 | −6.9% |
| | 3 | 空運業 | −4.5% |
| | 4 | ゴム製品 | −4.3% |
| | 5 | 精密機器 | −4.0% |

（出所）Bloomberg

**外国株式** 下落

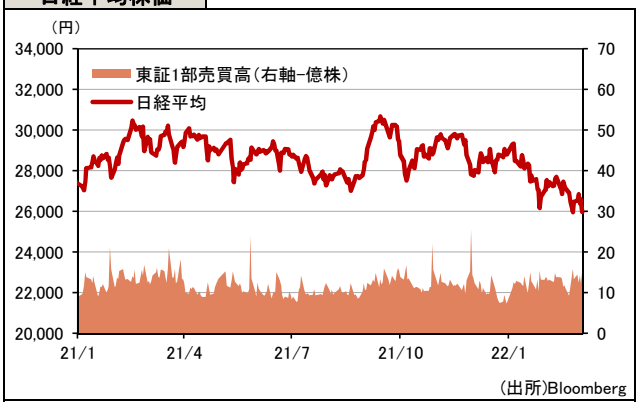
(米国)ロシアがウクライナとの停戦協議を再開する意向との報道を受け上昇する局面もあったが、週を通じてウクライナ情勢悪化が重しとなり下落。
(中国)全人代を前に政策期待の高まりが相場を支えたものの、ウクライナ情勢を巡る警戒感等を背景に上値の重い展開が続き、横ばい。

**S&P500業種別騰落率**

| | | | |
|---|---|---|---|
| （上位） | 1 | エネルギー | 9.3% |
| | 2 | 公益事業 | 4.8% |
| | 3 | 不動産 | 1.7% |
| | 4 | 資本財・サービス | 1.2% |
| | 5 | ヘルスケア | 1.2% |
| （下位） | 1 | 金融 | −4.9% |
| | 2 | 情報技術 | −3.0% |
| | 3 | コミュニケーションサービス | −2.7% |
| | 4 | 一般消費財・サービス | −2.6% |
| | 5 | 素材 | −1.6% |

（出所）Bloomberg

**日経平均株価**




（出所）Bloomberg

**NYダウ**



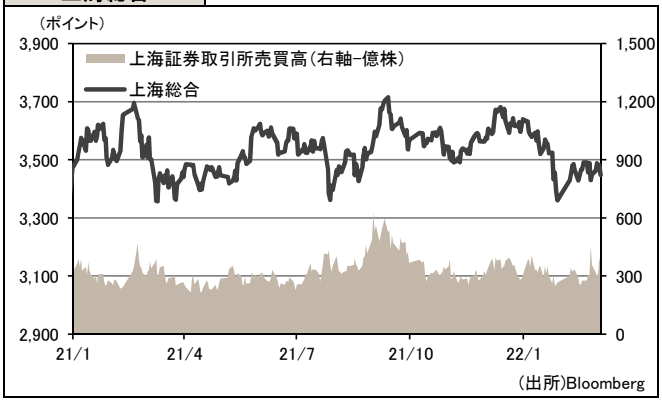

（出所）Bloomberg

**ユーロストックス**




（出所）Bloomberg

**上海総合**




（出所）Bloomberg

## 先週の市場動向（内外金利、為替、経済指標）

**国内金利**　金利低下

ウクライナ情勢の緊迫化に伴う原油高や景気減速懸念等を背景に、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから世界的に金利が低下するなか、10年債利回りは一時0.13%近辺まで低下する場面もあった。

**米国金利**　金利低下

ウクライナ情勢緊迫化を受けて10年債利回りは低下して始まった。その後、パウエル議長が金融政策正常化スタンスは不変であるとの認識を示し、10年債利回りは上昇する局面もあったが、ロシア軍の攻撃でウクライナ原発が火災したことを受けて低下した。

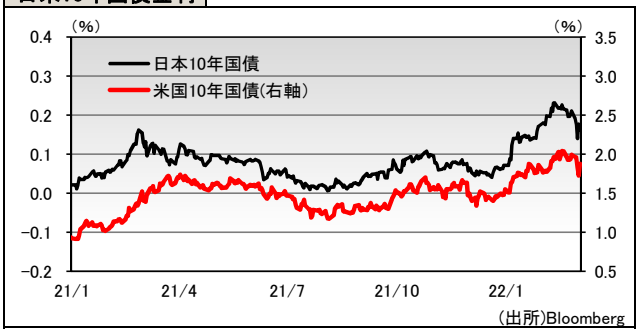
**為替**　円高ドル安

ウクライナ情勢緊迫化等を背景に円高ドル安で始まった。その後、パウエル議長が金融政策正常化スタンスは不変であるとの認識を示し、円安ドル高に転じる局面もあったが、米雇用統計で平均時給の上昇率が市場予想を下回ったことで円高ドル安となった。

| 日付 | 国 | イベント | 予測値 | 実績値 | 判定 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2/28 | 日 | 1月　鉱工業生産（前月比） | -0.7% | -1.3% | × |
| 3/1 | 中 | 2月　製造業PMI | 49.1 | 50.4 | ○ |
| | 米 | 2月　ISM製造業景況指数 | 58.0 | 58.6 | ○ |
| 3/2 | 米 | 2月　ADP雇用統計（千人、前月比） | 375 | 475 | ○ |
| 3/3 | 米 | 2月　ISM非製造業景況指数 | 61.1 | 56.5 | × |
| | 米 | 新規失業保険申請件数（千人） | 225 | 215 | ○ |
| 3/4 | 米 | 2月　非農業部門雇用者数変化（千人） | 423 | 678 | ○ |

※ 判定は、事前予想よりポジティブであれば ○ 。　（出所）Bloomberg

### 日米10年国債金利



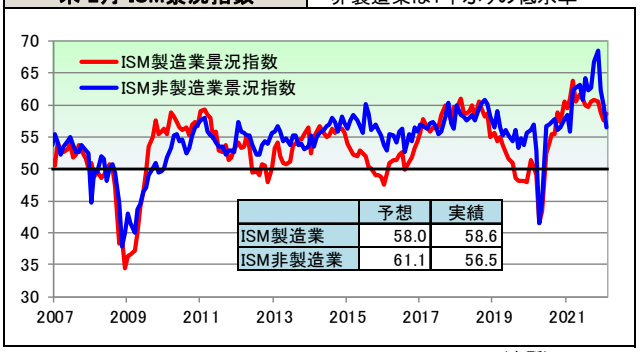

（出所）Bloomberg

### 為替




（出所）Bloomberg

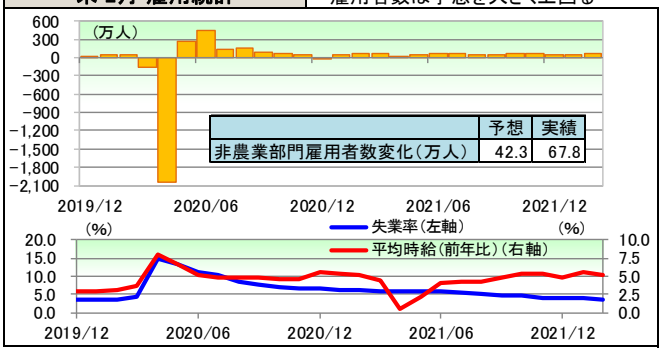
### 米 2月 ISM景況指数　～非製造業は1年ぶりの低水準




| | 予想 | 実績 |
|---|---|---|
| ISM製造業 | 58.0 | 58.6 |
| ISM非製造業 | 61.1 | 56.5 |

（出所）Bloomberg

### 米 2月 雇用統計　～雇用者数は予想を大きく上回る




| | 予想 | 実績 |
|---|---|---|
| 非農業部門雇用者数変化（万人） | 42.3 | 67.8 |

（出所）Bloomberg

### パウエルFRB議長 議会証言　～3月FOMCでの0.25%の利上げ方針を明確に示す

- パウエル議長は2日・3日に、金融政策について半期に1度の議会証言を行った。
- パウエル議長は、ウクライナ情勢の緊迫化の影響について、「米国経済への影響は非常に不透明であり、状況を注意深く監視する」と述べ、またコモディティ価格の上昇を受けて、「インフレにさらなる上昇圧力がかかるリスクに注意を払っている」とした。
- 今後の金融政策については、パウエル議長は「今月のFOMCでの利上げが適切」とし、質疑応答では「0.25%の利上げを支持する」と述べ、初回利上げ幅が0.25%となることを明確に示した。また、「高インフレが長期化すれば、0.25%より大きな幅での利上げなど、積極的な行動へ準備を整える」と明言した。

- 米国では概ね完全雇用が達成されているなか、FRBはウクライナ情勢の緊迫化をインフレ上昇要因として懸念していることなどから、金融政策正常化スタンスは不変であると考える。
- 一方、米国等がロシアの金融機関に対する制裁を強化していることなどを受けて、足元では短期金融市場におけるドルの流動性逼迫に対する懸念が高まっている。現時点では、パウエル議長は「市場はうまく機能している」との認識を示しているが、ドル調達を巡る市場のストレスの高まりは金融政策正常化プロセスにも影響を与えるため注意が必要である。

**【FRA-OISスプレッド（3ヵ月物）の推移】**




FRA-OISスプレッドとは、銀行間借入金利とリスクフリー金利のスプレッドであり、FRA-OISスプレッドの拡大は短期金融市場の需給が悪化していることを示します。

（出所）Bloomberg、各種報道

### 今後の見通し

**ウクライナ情勢の緊迫化等を背景に上値の重い展開が続く見通し**

・先週の株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫化やエネルギー価格の上昇等が引き続き重しとなり、不安定な相場展開が継続したが、今週も引き続きウクライナ情勢の動向がテーマになるものと見込まれる。

・ロシアとウクライナの停戦交渉に目立った進展は見られず、ロシアがウクライナの原発を攻撃したことなどにより投資家のリスクセンチメントは悪化しており、株式等のリスク性資産は上値の重い展開が続きやすいものと考える。

・また米国では今週、2月の消費者物価指数が発表される。3月FOMCでは0.25%の利上げが見込まれているが、発表されるインフレ指標が市場予想を上回る結果になった場合、今後の利上げペース加速や利上げ幅の拡大等に対する懸念が高まる展開も想定されるため注意が必要である。

**今週の注目イベントなど**

| 日付 | 国 | イベント | 予測値 |
|---|---|---|---|
| 3/8 | 日 | 1月 貿易収支（十億円） | -1890.4 |
| | 日 | 2月 景気ウォッチャー調査（現状） | 38 |
| | 日 | 2月 景気ウォッチャー調査（先行き） | 43 |
| | 韓 | 韓国大統領選 | - |
| 3/10 | 米 | 2月 消費者物価指数（前月比） | 0.8% |
| | 欧 | EUC理事会、ラガルド総裁会見 | - |
| | 欧 | EU首脳会議（～11日） | - |
| 3/11 | 米 | 3月 ミシガン大学消費者信頼感指数 | 61 |

（出所）Bloomberg等

※ 現時点での市場見通しを示したものであり、当社の投資方針と必ずしも整合するとは限りません。
※ 本資料は当社が情報提供を目的に作成したものであり、保険募集を目的とするものではありません。
※ データの一部は当社が信用できると判断した情報源より作成しておりますが、正確性・完全性について当社が保証するものではありません。
※ 最終ページのご連絡事項についてよくお読み下さい。


第一生命保険株式会社
お問い合わせ先：特別勘定運用部
TEL 050－3780－1007

# 特別勘定特約に関する重要なお知らせ

※本お知らせは保険業法第300条の2に準用される金融商品取引法第37条にもとづき、特別勘定特約に関して表示すべき広告等規制に関して記載するものです。

## 【手数料について】

・特別勘定特約に関する手数料（付加保険料）のうち、指数連動型配当口に関する手数料を除いた部分は、当社が引受けるご契約者の年金資産（責任準備金）のうち特別勘定部分の経過責任準備金を各ロランクごとの金額に分け（円貨建株式口は1型・2型を通算）、それぞれに所定の手数料の率を乗じて得た金額の合計額を毎年ご負担いただきます。

・以下の手数料率表については、経過責任準備金ランクの上限および下限のみ記載しております。

・指数連動型配当口に関する手数料（付加保険料）は、指数連動型配当口設定時の責任準備金の額に0．280％を乗じて得た金額を毎年ご負担いただきます。

### ■手数料率表

| ●確定給付企業年金保険<br>●新企業年金保険（Ⅱ） | 総合口 | 第2総合口 | 第3総合口 | 債券総合口 | 年金債務対応総合口 | ヘッジ外債総合口Ⅰ型 | グローバル株式総合口Ⅰ型 | 円貨建公社債口 | 円貨建株式口1型・2型 | 円貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建公社債口 | 外貨建公社債口為替ﾍｯｼﾞ型 | 外貨建株式口 | 外貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建株式口新興国型 | 短期資金口 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 手数料上限<br>（1,000万円以下の部分） | 0.600% | 0.600% | 0.700% | 0.590% | 0.640% | 0.745% | 0.955% | 0.450% | 0.700% | 0.400% | 0.750% | 0.750% | 0.800% | 0.500% | 0.800% | 0.050% |
| 手数料下限<br>（500億円超の部分） | 0.220% | 0.220% | 0.320% | 0.210% | 0.260% | 0.365% | 0.575% | 0.155% | 0.230% | 0.110% | 0.230% | 0.230% | 0.240% | 0.210% | 0.240% | 0.050% |

| ●厚生年金基金保険 | 総合口 | 第2総合口 | 債券総合口 | 年金債務対応総合口 | 円貨建公社債口 | 円貨建株式口1型・2型 | 円貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建公社債口 | 外貨建公社債口為替ﾍｯｼﾞ型 | 外貨建株式口 | 外貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建株式口新興国型 | 短期資金口 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 手数料上限<br>（10億円以下の部分） | 0.440% | 0.440% | 0.430% | 0.480% | 0.330% | 0.520% | 0.400% | 0.550% | 0.550% | 0.600% | 0.500% | 0.600% | 0.050% |
| 手数料下限<br>（500億円超の部分） | 0.220% | 0.220% | 0.210% | 0.260% | 0.155% | 0.230% | 0.110% | 0.230% | 0.230% | 0.240% | 0.210% | 0.240% | 0.050% |

| ●厚生年金基金保険（Ⅱ） | 総合口 | 第2総合口 | 債券総合口 | 年金債務対応総合口 | 円貨建公社債口 | 円貨建株式口1型・2型 | 円貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建公社債口 | 外貨建公社債口為替ﾍｯｼﾞ型 | 外貨建株式口 | 外貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建株式口新興国型 | 短期資金口 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 手数料上限<br>（1,000万円以下の部分） | 0.600% | 0.600% | 0.590% | 0.640% | 0.450% | 0.700% | 0.400% | 0.750% | 0.750% | 0.800% | 0.500% | 0.800% | 0.050% |
| 手数料下限<br>（500億円超の部分） | 0.220% | 0.220% | 0.210% | 0.260% | 0.155% | 0.230% | 0.110% | 0.230% | 0.230% | 0.240% | 0.210% | 0.240% | 0.050% |

| ●新企業年金保険（「保険料に係る特別な取扱いに関する特則」が適用されている場合） | 総合口 | 第2総合口 | 第3総合口 | 債券総合口 | 年金債務対応総合口 | ヘッジ外債総合口Ⅰ型 | グローバル株式総合口Ⅰ型 | 円貨建公社債口 | 円貨建株式口1型・2型 | 円貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建公社債口 | 外貨建公社債口為替ﾍｯｼﾞ型 | 外貨建株式口 | 外貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建株式口新興国型 | 短期資金口 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 手数料上限<br>（1,000万円以下の部分） | 0.830% | 0.830% | 0.930% | 0.820% | 0.870% | 0.975% | 1.185% | 0.620% | 0.970% | 0.400% | 1.030% | 1.030% | 1.120% | 0.500% | 1.120% | 0.050% |
| 手数料下限<br>（500億円超の部分） | 0.220% | 0.220% | 0.320% | 0.210% | 0.260% | 0.365% | 0.575% | 0.155% | 0.230% | 0.110% | 0.230% | 0.230% | 0.240% | 0.210% | 0.240% | 0.050% |

| ●新企業年金保険（「保険料に係る特別な取扱いに関する特則」が適用されていない場合） | 総合口 | 第2総合口 | 第3総合口 | 債券総合口 | 年金債務対応総合口 | ヘッジ外債総合口Ⅰ型 | グローバル株式総合口Ⅰ型 | 円貨建公社債口 | 円貨建株式口1型・2型 | 円貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建公社債口 | 外貨建公社債口為替ﾍｯｼﾞ型 | 外貨建株式口 | 外貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型 | 外貨建株式口新興国型 | 短期資金口 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 手数料上限<br>（1,000万円以下の部分） | 0.670% | 0.670% | 0.770% | 0.660% | 0.710% | 0.815% | 1.025% | 0.500% | 0.790% | 0.360% | 0.835% | 0.835% | 0.910% | 0.450% | 0.910% | 0.045% |
| 手数料下限<br>（500億円超の部分） | 0.180% | 0.180% | 0.280% | 0.170% | 0.220% | 0.325% | 0.535% | 0.130% | 0.190% | 0.090% | 0.190% | 0.190% | 0.200% | 0.170% | 0.200% | 0.045% |

※　指数連動型配当口は確定給付企業年金保険、厚生年金基金保険（Ⅱ）、新企業年金保険（Ⅱ）をご契約の場合、採用いただくことができます。

※　手数料=各口の合計

※　消費税は別途申し受けます。

※　上記のほか、資産運用の過程で売買の際に発生する売買委託手数料や、売買委託手数料に関する消費税に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する諸費用を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。

※　運用効率の観点等から投資信託による運用を行う場合、投資信託に係る信託報酬を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、信託報酬については投資信託の運用会社や投資対象資産によって手数料率が異なる等の理由から、計算方法を表示しておりません。

※　上記の手数料には、一般勘定（主契約）の付加保険料、制度管理等に係る各種業務委託費、年金数理人費は含まれておりません。

## 【特別勘定特約の運用方法について】

・第2総合口の投資対象である新興国国債、新興国株式、REIT（不動産投資信託証券）、債券総合口の投資対象である先進国国債（日本含む）、新興国国債、グローバル社債、および年金債務対応総合口の投資対象である為替ヘッジ外債、グローバル社債、国内株式、外国株式は、私募投資信託を用いて運用を行います。また、ヘッジ外債総合口Ⅰ型およびグローバル株式総合口Ⅰ型はマーサー・グローバル・インベストメンツ・ヨーロッパ・リミテッドが運用する外国投資信託、指数連動型配当口はシンプレクス・アセット・マネジメント株式会社が運用する私募投資信託を利用します。投資対象の詳細については、「ご契約のしおり」および別途資料にてご案内申しあげます。

・年金債務対応総合口において想定する年金債務は、当社設定の標準的な企業年金の負債属性を前提にしており、お客さま個々の年金債務と必ずしも一致するものではありません。

## 【損失発生リスクとその発生理由】

・特別勘定特約は、一般勘定（主契約）の責任準備金（保険料積立金）の一部を特別勘定で運用し、この運用実績を直接、責任準備金（保険料積立金）に反映させる仕組みの商品です。

・特別勘定は、国内外の公社債、株式等を運用対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価値の下落」等といった投資対象資産の価格下落リスクは責任準備金（保険料積立金）の下落要因となります。資産運用の結果は、その損失も含めてご契約者に帰属します。経済情勢や運用成果のいかんにより高い収益を期待できる反面、元本（特別勘定に投入された保険料の合計額）の保証はなく、運用実績が元本を下回ることがあり、損失を生じる可能性があります。

## 【ご留意事項】

・特別勘定における資産運用の成果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。

・特別勘定での運用はご契約者が特別勘定の特徴を十分理解した上で、ご契約者の判断と責任において行っていただく必要があります。

**第一生命保険株式会社**
**東京都千代田区有楽町1－13－1**
**電話 03（3216）1211（大代表）**